

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場における  
ボイラー更新事業

排出削減事業者名：ヤマケイプレコン株式会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：株式会社 丹波工業所

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	ヤマケイプレコン株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場
住所	〒347-0042 埼玉県加須市志多見 1915
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	株式会社 丹波工業所

（注） その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場におけるボイラー更新事業

### 2.2 排出削減事業の目的

ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場における既存のボイラーの高効率化により、CO<sub>2</sub> 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場における既存の炉筒煙管式ボイラー1 台を2 台のより高効率の多管式貫流ボイラーに更新することにより、CO<sub>2</sub> 排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2012 年 12 月 9 日

#### 3.2 モニタリング対象期間

2015 年 4 月 1 日 ～ 2017 年 12 月 8 日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

本事業は活動量・原単位を使用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

本事業は活動量・原単位を使用しない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本プロジェクトのバウンダリーは、埼玉工場内のボイラー設備、及びボイラー設備により供給される蒸気を使用する設備である。対象設備の詳細は、2.6「排出削減事業に関わる設備」に記す。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後の A 重油使用量	ℓ	388,000	燃料供給会社からの伝票	
			27年度 146,000		
			28年度 150,000		
			29年度 92,000		
$\varepsilon_{PJ}$	更新後のボイラー効率	%	90.25	カタログ値 (高位発熱量ベースに換算)	
$\varepsilon_{BL}$	更新前のボイラー効率	%	82.65	カタログ値 (高位発熱量ベースに換算)	
$HV_{fuel,PJ}$	事業実施後燃料(A重油)の単位発熱量	GJ/L	0.0389	J-クレジット制度のデフォルト値	
$CO_2F_{fuel,PJ}$	事業実施後燃料(A重油)の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	
$CO_2F_{fuel,BL}$	事業実施前燃料(A重油)の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
388,000 (ℓ)	0.0389(GJ/ ℓ)	0.0708 (tCO2/GJ)	1,068.6 (tCO2)
EM <sub>PJ</sub>			1,068.6 (tCO2)

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
423,679(ℓ)	0.0389 (GJ/ℓ)	0.0708 (tCO2/GJ)	1,166.9 (tCO2)
EM <sub>BL</sub>			1,166.9 (tCO2)

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
—	—	—	—
LE			0(tCO2)

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	1,166.9 (tCO2)
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	1,068.6 (tCO2)
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0(tCO2)
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	98(tCO2)

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン ①	実績 ②	ベースライン - 実績 ①-②
425.2	391.4	33.8

$$\underline{\text{省エネ量} = 425.2 - 391.4 = 33.8(\text{kl})}$$

9 再生可能エネルギー利用量  
 利用なし

	モニタリング期間 ( 2013年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日 )			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)